

第三者評価結果

事業所名：太陽の子鶴ヶ峰保育園

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a

<コメント>

- ・理念・基本方針はホームページや重要事項説明書に明示し、園内にも掲示して保護者などがいつでも閲覧できるようにしている。
- ・園見学者にも理念や保育方針を説明し、保育の内容や様子、ポスターや掲示物を見る機会を設けている。
- ・スタッフハンドブックやマニュアルの記載を研修内で見直し、職員間で読み合わせなどで共有している。
- ・年2回の運営委員会で、保護者と園運営について意見交換を行う際にも基本方針などを説明している。
- ・保育サービスは基本方針に沿って実施している。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a

<コメント>

- ・園長は本社全体会や区の園長会に参加し必要な情報を収集して、後日分析した内容や課題を園の職員に共有している。
- ・保護者アンケートを実施し、その意見・要望を重視して保育を進めている。
- ・近隣保育園と交流して、地元の福祉ニーズなどの情報を把握・分析している。
- ・園より毎月本社へ月報として入退園児数を報告しており、それに基づいて園予算が配分され、保育環境の充実のために活用している。

【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
--	---

<コメント>

- ・収集した情報を分析・検討して、自園の取り組むべき課題や問題を明確にしている。
- ・具体的かつ重要な課題や問題は本社とも共有し、年に1回以上社長や役員に園へ来てもらい現状を伝えている。改善に向けて話し合い、職員とも共有している。
- ・保育内容で職員と共有したい時は、リーダー会議や職員会議で話し合いを行い、園全体の課題にして取り組んでいる。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・中・長期的なビジョンは本部で策定されており、本社全体会で園長に説明しており、園長はそれを職員に伝えている。 ・中・長期的なビジョンは数値的な目標や具体的な成果などを設定しており、評価・見直しすることができる内容となっている。 	
【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・単年度計画は中・長期計画に基づき、園長・主任が立案・策定して職員に説明し周知している。 ・単年度計画は、保護者アンケートの結果を分析・検討し満足度を勘案した後、保護者ニーズに合った内容のものに設定している。 ・単年度計画は具体的な成果などを設定しており、実行可能な計画となっている。 	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は手順通りに策定され、都度職員の意見や提案を聞き、計画の実施状況、振り返りなどが行われている。 ・事業計画に基づいた年間計画を職員会議に下ろしていき、前年度の反省をもとに行事内容や計画を見直している。 ・関連事項があれば、都度職員会議を開き、職員間で話し合うことで情報共有している。 ・毎年の中・長期計画を踏まえた目標達成シートに計画や課題を記入し、四半期ごとに評価・反省をしている。 	
【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園内に事業計画などを備え置き、閲覧できるようにして保護者に周知するように努めている。 ・運営委員会や懇談会で事業計画の内容や進捗状況などを説明し、保護者からの意見を聞き保護者が参加しやすい園運営を目指している。 ・年度末には必ず必要事項を文書にして配布・掲示したり、またドキュメンテーションを作成したり、コドモン配信にて保護者に通知し説明するように努めている。コロナ禍においてはオンライン等を利用しているが、すべての保護者にわかりやすく説明することは難しく今後の課題としている。 	

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者評価結果
【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園長は本社方針に基づいて自園の自己評価を実施し、報告書を提出してチェックする体制が整備されており、本社との面談などを基に保育の質向上や運営改善のためのPDCAサイクルが機能している。 ・職員は年初に年間目標を定め、その達成に向けて保育業務を遂行して行き、年度末に自己評価を行い、園長や主任と面談をしてアドバイスや指導を受け保育の質の向上に取り組んでいる。 	
【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園長および職員個々の自己評価の課題については次年度にどのように生かしていくかを話し合い、事業計画や年間計画に取り入れている。 ・自園の取り組みべき課題・問題点は職員間で共有し認識している。 ・園では4半期ごとに職員会議にて課題・問題点を見直し、改善策や改善計画を検討・協議している。 ・関連事案がある都度、保護者の意見などを聞き、業務の振り返りや見直しを実施している。 	

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
<p>【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・本社にて職務分掌表が作成され、園長はそれに基づき業務遂行し、自らの役割と責任及び取り組むべき課題を職員に示し理解・認識を促している。 ・園長は各種会議に参加して必要に応じて発言し、自らの役割と責任を職員に対して表明し、一層の理解を図っている。 ・園長不在時の権限移譲に関しては、災害対応ハンドブックなどで明確にし、主任初め各職員が責任を持って行動するよう周知している。 ・園長は園の携帯電話を常に持ち歩き、夜間や休日でも連絡が取れる体制にしている。 	
<p>【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・会社としてのプライバシーポリシーを策定し、スタッフハンドブックで遵守すべき法令などを記述して職員に周知を促している。 ・本社にて「コンプライアンス確認テスト」を実施し、一層の園長の理解・認識に取り組んでいる。 ・園内及び本社での研修などで理解を深めるように促し、すべての職員が一定の認識を保てるように取り組んでいる。 ・保護者には入園の際に重要事項を説明し、個人情報に関しては同意書を交わしている。 	
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
<p>【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上に向け、職員は積極的に研修に参加し自己研磨を行っている。 ・職員は年度初めに自身の目標を設定し、その個々の目標に沿って業務に取り組み、定期的振り返りを行っている。 ・園長は、昼礼や職員会議に参加し、クラスでの問題点解決やフロア環境見直しに積極的に参加してリーダーシップを発揮している。 ・園長は自園の自己評価を行い、定期的に本社との面談などを基にPDCAサイクルを実施して保育の質向上に意欲を持って取り組んでいる。 	
<p>【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・園長は本社主催の労務研修及びテスト受講を義務付けられ、労務管理の基礎知識を深めている。 ・園長は働きやすい職場環境の整備、有給休暇取得、人員配置など、経営の改善や業務の実行性を高める取り組みに指導力を発揮して業務を行っている。 ・園長会で自園の経営状況及び財務状況を共有し把握している。 ・毎月、月次報告書を本社に提出し、本社および園担当者や運営状況について情報を共有している。 	

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・本社にて、福祉人材や人員体制、職員育成などに関する基本的な考え方や方針が確立されている。 ・採用は本社人材開発が行い、配置については園長と本社運営推進部とエリア担当が協議相談して対応している。 ・常勤職員だけでなく、アルバイトやパートも育成を目的に研修を行っている。女性職員が多い職場のため出産や育児、介護などで休職者が出て、時には人員確保が計画通りにいかない状況があることを課題としている。 	
【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・本社にて人事基準は明確に定められており、スタッフハンドブックに「期待する職員像等」を明確にしている。 ・人事基準や配置基準については意向調査や面談時に職員に周知している。 ・キャリアパスを提示し、職員は自己評価シートに年間の目標や研修計画を定めて、年に3回以上は園長や主任と面談し、目標や保育の振り返り、見直しを行っている。 ・評価・分析に基づき職員の処遇を検討し、必要に応じて人事管理・労務管理上の改善策を講じている。 ・園長は職員と5年後にどのような姿を目指して行くのかを話し合う時間を設けている。 	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則は何時でも見ることができ、パソコンでも閲覧できるようになっている。 ・労務管理に関しては園長・主任が担当し、職員の就業状況や意向を把握している。 ・職員の希望を聞き入れ、シフト作成しており有給休暇は必ず年間5日以上取得できるように配慮して、ワークライフバランスを考慮働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 ・職員が不安や悩み事を相談しやすい体制を築いている。 	
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・各役職や専門職によって、目標設定シートにて職員一人ひとりの目標項目、目標水準、目標期間を設定する目標管理のための仕組みがある。 ・目標設定シートに基づき、園長は職員と年度中および年度末には面談を実施し適切な指導に取り組んでいる。 ・職員は自身の目標を達成するため、本部研修や外部研修を積極的に受講している。 	
【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定シートに専門技術や基本姿勢を明示し、職員一人ひとりに合った、個別育成計画・研修計画を作成している。 ・個別育成・研修計画に沿って人材育成が行われ、職員は目標に沿って業務を遂行している。 ・定期的に園長・主任が職員面談を行い、計画の進捗状況や達成度合いを確認している。 ・職員との面談で計画の見直し、評価を行いアドバイスや指導などに努めている。 ・職員は処遇改善Ⅱの役割を各自意識し、業務や研修に取り組んでいる。 	
【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・職員にはキャリアアップ制度に基づき教育・研修の機会があり、階層別研修、職種別研修、テーマ別研修など各職員が必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を設けている。 ・職員一人ひとりに合った個別育成計画・研修計画を作成し、各経験年数や学びにリンクしたものを勤務中に受講している。 ・園内研修では主任や看護師が専門性を活かし、会議内で実施している。 ・外部研修も月に一度以上あり、職員に対し興味のある内容のものに参加できるよう掲示案内している。 	

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社の教育実習生受入マニュアルにて、実習生受入の基本方針を提示している。 ・ 園では本社の教育実習生受入マニュアルに基づき、事前にオリエンテーションを行い得た情報をもとに園全体で共通の認識をもって指導にあっている。 ・ 実習生受入指導者研修や考え方研修で実践力、思考力、専門性を高め、職員の指導力向上を図っている。 	

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	
<コメント>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所に園のパンフレットを置かせてもらい、地域で開催される子育てイベントに参加して園の活動をアピールしている。 ・ ホームページの公開などは本社主導で行っており、法人及び園の保育理念や基本方針、保育の内容や活動などを情報発信している。 ・ 重要事項説明書や財務書類など関係書類を閲覧可能にし、ホームページで公開して運営の透明性を確保している。 ・ 見学者には前もってアンケートで知りたい情報をチェックしてもらい、園内を案内しながら子どもの様子や活動内容を分かりやすく説明している。 		
【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	
<コメント>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の事務、経理、取引などに関するルール、職務分掌と権限・責任を明確にし、職員に周知して適正な経営・運営に努めている。 ・ 経理、会計や補助金に関する確認を本社の各部署と連携を取りながら適切に行っている。 ・ 本社による年1回の内部監査実施と、行政の定期的な行政監査を受審し、受診結果や指摘事項に基づいて自園に関連する事項については経営・運営改善に努めている。 		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
【23】 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域とつながる」を理念に掲げ、地域活動に取り組み、地域資源を活用し公園清掃や園庭開放などを行っている。 ・園長の目標設定にも地域交流の項目を入れ、積極的に地域交流を図るようにしている。 ・商店など地元を活用できる社会資源や地域の情報を収集し、子ども・保護者のニーズに応じて積極的に地域交流を図るよう努めている。コロナ禍においては、以前に比べると交流の機会が少なくなっており、今出来る事を模索している。 	
【24】 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受入や地域の学校教育などへの協力についての基本姿勢を明文化し、マニュアル・体制は整備している。 ・毎年、近隣の中学校や高校から職業体験やボランティアを受け入れ、子どもとの異年齢交流を深めている。 ・夏休みなど学校が休みの日に生徒・学生が活動しやすいようにイベントなどを企画・計画している。 ・地元小学校の先生方と交流しており、入手した情報を園児に教えるなどして協同している。 	
(2) 関係機関との連携が確保されている。 【25】 II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園や公共機関、商店など種類別で明確に社会資源を分け保育実践に生かしている。 ・家庭支援センターや区役所の担当・児童相談所など子どもに関わる関係機関と定期的、または必要に応じて連絡を取り情報共有している。 ・地域のネットワーク間での連携を大切にしている。 ・子育てに不安を感じていたり、発達などで困っている保護者の相談に乗り、各関係機関を紹介したり、必要な時には連携を取り保護者支援に努めている。 	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の園長会や集まりに参加し、情報交換し合うことで地域のニーズ把握に努めている。 ・他園、姉妹園の園長と情報交換を行い、地域の福祉の状況やニーズなどを把握するように努めている。 ・他園との交流としては活動内容や各種情報の共有、公開保育、公園交流、研修などを行っている。 ・事業所内の「おそうじ本舗」と提携して地域の清掃作業を行っている。 	
【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣園と協力して、子育て広場を開催し親子が楽しめるイベントを行っている。 ・園庭開放や身体測定（大きくなったね）など、子育てしている家庭が訪れやすいようにポスターなどを使って呼び掛けをしている。 ・事業継続計画を策定し、災害が起きた際、地域にトイレや手洗い場を提供したり避難場所までの案内板を掲示することになっている。 ・ボランティアや実習生を受け入れ、次世代の育成や福祉サービスを地域に還元するよう努めている。 ・アンケート調査や運営委員会での話し合いは、より良い地域づくりに向けた意見交換の場になっている。 	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
<p>【28】 Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの尊重や基本的人権などについて、本社及び園内で定期的に研修を実施している。 ・子ども達の楽しむ姿を保護者と共有し、安心や理解を図っている。 ・日々の保育実践の中では、性差を意識しない言葉かけや関わりを行い、また外国人講師による生活習慣や文化の違いを子ども達に理解し尊重する心を育てられるよう配慮をしている。 ・個々を評価するのではなく、他児がしている事を見てその頑張りを認め、子どもが表現できる保育を行っている。 	
<p>【29】 Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どものプライバシー保護については、マニュアルが作成され、また自己目標シートの中にも記載があり、職員は常に念頭に入れて保育を行っている。 ・コンプライアンス研修を行い、個人情報取り扱いについての理解を深めている。 ・園内研修を行い、子どものプライバシーに配慮した保育、生活環境について話し合いを実施している。 ・プライバシー保護のため、園庭のシャワー時に目隠ししたり、トイレも個別に仕切られている。 	
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
<p>【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念や基本方針、保育内容や園の特徴など、園情報はホームページに掲載したり、園内に掲示または設置して誰でも閲覧できるようにしている。 ・パンフレットを区役所の家庭支援課に置き、また、子どもが作った作品を展示して園名を紹介している。 ・園見学は積極的に受入れて1組ずつ丁寧に対応し、家族そろって見学できるようにし質疑応答を丁寧にしている。 	
<p>【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	b
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の開始・変更時には最終的に園長が面談し、保護者に説明して同意を得るようにしている。 ・保育内容に変更があった場合は重要事項説明を行い、分かりやすく変更内容も伝え保護者には同意書を提出してもらっている。 ・説明はオンラインで行い、個別に保護者の意向を聞き、調整できる事は支援するように努めている。 	
<p>【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の変更や自園の保育終了に当たっては、半年間は園からの情報を入手するシステムがある。 ・本社にも相談窓口を設置しており、園では園長が窓口担当者となり対応している。 ・転園や小学校就学に向けて、要録を作成したり、必要な書面を提出したりして保育の継続性に配慮した対応を行っている。 	
(3) 利用者満足の向上に努めている。	
<p>【33】 Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを実施し、保護者のニーズを取り入れ次年度の行事計画を見直している。 ・各担当者別会議を行い、子どもの満足度が満たされる保育内容となっているか改善に向けた話し合いを行っている。 ・具体的な改善策として毎月の誕生会を各クラスで行ったり、懇談会をオンラインで行っている。 ・個人面談、クラス懇談会を設けて気軽に要望が話しやすい体制作りができており、意見や感想を職員間で分析・検討すると共に改善する取組を行っている。 	

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】 Ⅲ-1-(4)-①
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

a

【判断した理由・特記事項等】

- ・苦情解決責任者は園長、苦情受付担当者は主任となり、記録を保管して苦情解決の体制を構築できている。
- ・苦情になる前にアンケートなどで保護者の困りごとに対応している。
- ・意見を無記名で回収できるようポストを設置し、毎日確認して速やかに対処するように努め、保護者にフィードバックしている。
- ・本社にも苦情相談窓口を設け、園と連携して苦情解決に取り組んでいる。

【35】 Ⅲ-1-(4)-②
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

a

<コメント>

- ・相談しやすいように個室を設け、随時面談ができるようにしている。
- ・園内にポストを設置し、いつでもその意見や相談事を伝えやすい環境を整えている。
- ・苦情などがあった場合には速やかに回答し、掲示及び公表して保護者に周知するようにしている。
- ・本社にも苦情相談窓口があることを重要事項説明書に記載し、保護者には入園説明会で周知している。
- ・送迎時の声掛けなど保護者との関係づくりに努めている。

【36】 Ⅲ-1-(4)-③
保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

a

<コメント>

- ・ポストや連絡帳の他、登園・降園時に口頭でもコミュニケーションをとり、保護者からの意見や相談を迅速に聞き取るようにしている。
- ・面談記録簿を記載し、相談や意見をしっかりと検討している。
- ・園では毎日の昼礼で意見や相談を職員間で共有し、迅速に対応するよう努めている。
- ・日頃から保護者と話をする時間を大切に、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

【37】 Ⅲ-1-(5)-①
安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

a

<コメント>

- ・本社でリスクに対するマニュアルや事業継続計画書を作成するとともに、関連する研修を実施している。
- ・各種マニュアルや緊急連絡網などは職員が確認しやすい所に掲示している。園では自園の状況にあったリスク対応・対策の手順などを明確にし、職員間で共有している。
- ・ヒヤリハット報告や各園で収集した事故事例などを職員間で共有し、事故防止に努めている。
- ・メディアの事例や区からの情報を基に、必要に応じて保護者と連携し事故防止に努めている。

【38】 Ⅲ-1-(5)-②
感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

a

<コメント>

- ・感染症対策に関しては、園長を責任者とした体制を構築し、看護師が園の状況にあった予防と対策のマニュアルを作成することで職員間で周知徹底している。
- ・看護師は園内研修を行い、職員間で感染症に対する知識や技術を修得し、対応できるよう共通認識を持つように努めている。
- ・本社にて保護者への感染症情報提供の共通シートを作成し、適切に情報提供できるようにしている。
- ・園では消毒などを普段より徹底させ、地域や保護者にも「保健だより」などで指導している。

【39】 Ⅲ-1-(5)-③
災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

a

<コメント>

- ・本社主体で事業継続計画を策定しており、園長は職員に周知徹底するように努めている。
- ・防災計画を整備し地元の消防署、警察、自治会などと連携した避難訓練などを行い、子どもの安全確保のための体制を講じている。
- ・コードモンを活用し、保護者・職員の安否確認の仕組みを作っている。
- ・備蓄品リストの管理責任者は栄養士と定め、備蓄品の確認と補充を行っている。

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
<p>【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフハンドブックに標準的な実施方法を文書化し、権利擁護の姿勢を明示しており、入社時に配布研修を行い、全職員に周知できるようにしている。園独自のマニュアルの作成もあり、水遊びについての確認事項や散歩マップなどをまとめている。また新入社員にむけて仕事内容をわかりやすくまとめ伝えている。 ・子どもの権利の主体であるという認識を子どもに関わる全ての職員が持っているようにマルチリトメント研修を定期的実施している。 	
<p>【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年園よりマニュアルに関するヒアリングを行っている。また監査等や第三者評価等でご意見・指導を受けた事項に関して検討し見直しを図っている。 ・週、月、四半期で計画を振り返り、反省を基に反映していけるよう話し合いを設けている。 ・園内研修等で保育者の違いによる保育の内容の差異が無くせるよう行動分析やチェックリストを作成している。 	
<p>(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p> <p>【42】 Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会では地域の民生委員や第三者委員にも参加してもらい、保護者とも意見交換する場を設けている。今年度はリモートによって開催している。行っている。 ・年度末には振り返りに基づいて次年度の計画を立案している。 	
<p>【43】 Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・月の中旬と下旬に子どもの様子を園内で共有しその内容を基に指導計画を見直しして作成している。週案の変更があれば日案に日々記録し把握できるようにしている。 ・子どもの様子や感染症の予防に伴う計画の変更は、園内で十分に検討し、保護者への理解に努めている。 ・保護者アンケートでの意向を把握して取り入れていけるものから改善できるように取り組んでいる。 	
<p>(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p> <p>【44】 Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数や専門分野など参加者や会議の規模を工夫している。 ・健康台帳や児童表で発達状況や生活状況を記入してもらい、それを基に面談を行い情報の共有に取り組んでいる。 ・個別のカリキュラムを作成し、個別に配慮が必要な場合はカリキュラムの評価に基づいて環境構成を行っている。 ・保護者ともシステム（コードモン）を活用して情報を共有している。 	
<p>【45】 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・会社としてのプライバシーポリシーの策定をし、スタッフハンドブックで周知している。 ・園内及び本社での研修等で理解を深めるよう促し、研修に参加できない場合は、スタッフ会議議事録や研修参加者の報告書を共有し全ての職員が一定の認識を保有よう取り組んでいる。 ・保護者には、入園の際個人情報に関する同意書を提出して頂き、各帳票においては園長が管理責任者のもと、施錠できる棚で管理されている。 	